

中小企業地域資源
活用促進法に基づく

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

米どころ越後長岡で発展した 発酵・醸造製品と米の加工製品

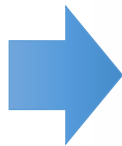


新潟県長岡市
が応援するふるさと名物

- 発酵・醸造製品
- 米の加工製品



米どころ新潟県
の中でも有数の
米の産地



酒、味噌、醤油等、
発酵・醸造を利用した
製品が根付く



様々な米の加工製品が誕生

発酵・醸造を利用した様々な製
品が誕生

長岡市の取り組み

- ◆新製品開発等の補助金による支援
- ◆「日本酒で乾杯を推進する条例」のまち
- ◆長岡うまい米コンテスト
- ◆醸造の町 摂田屋の街なみ整備
- ◆ふるさと納税事業

詳細はこちら



「ふるさと名物応援宣言」により優先的に受けられる国の支援等

市町村（ふるさと名物応援宣言）

- 地域の実情に通じ、様々な関係者との連携の軸となりうる市町村が、地域を挙げて「ふるさと名物」を応援することを宣言。
- 宣言には、①地域のプロフィール、②応援する「ふるさと名物」、③活用される「地域資源」、④市町村による具体的な支援策等を記載。

全国へ 情報発信

情報発信

「ミラサポ」通じて発信

- 各市町村の「ふるさと名物応援宣言」を一元的に情報発信します。
- 経済産業局、中小機構等の支援事業を通じて、「ふるさと名物」の認知度向上を後押しします。

※「ミラサポ」は、中小企業庁のポータルサイト。

優先的に 採択

補助金

ふるさと名物応援事業

- 「ふるさと名物応援宣言」の対象となっている地域資源活用事業計画等に対し、国の「ふるさと名物応援事業」（事業者に対する補助金）において、優先的に採択します。

※優先採択に当たっては、「ふるさと名物応援宣言」が当ガイドラインに合致したものであるとして、原則、中小企業庁がウェブサイト上で当該応援宣言を公表していることが条件となります。

優先的に 研修へ参加

人材育成

ふるさとプロデューサー育成事業

- 地域の関係者を巻き込み、地域の特色を活かした製品の開発や販路開拓、ブランド化等の取組を進める中核的人材を育成するため、実績のある「ふるさとプロデューサー」の下で、OJT研修を実施します。「ふるさと名物応援宣言」をした市町村関係者は、当研修に優先的に参加できます。

※優先参加に当たっては、「ふるさと名物応援宣言」が当ガイドラインに合致したものであるとして、原則、中小企業庁がウェブサイト上で当該「ふるさと名物応援宣言」を公表していることが条件となります。

ふるさと名物応援事業一覧

地域産業資源活用事業／小売業者等連携支援事業

中小企業地域産業資源活用促進法の認定が必要です。



- **地域産業資源活用事業** 補助上限額：500万円【※1】（補助率 2/3【※2】）
中小企業者が地域資源を活用し、商品等の開発・需要開拓を図る事業
- **小売業者等連携支援事業** 補助上限額：1,000万円（補助率 2/3【※2】）
小売業者・一般社団法人等が地域産業資源活用商品の市場動向等を収集し、製造事業者へのフィードバックする事業
【※1】 4者以上の場合、2,000万円【※2】 2/3（1～2回目） 1/2（3～5回目）

農工商等連携支援事業

農工商等連携促進法の認定が必要です。



- **農工商等連携支援事業（事業化・市場化支援事業）** 補助上限額：500万円【※1】（補助率 2/3【※2】）
中小企業者と農林漁業者が連携し、互いの技術等を活用し、新商品等の開発・需要開拓を図る事業。
- **農工商等連携支援事業（連携体構築支援事業）** 補助上限額：1,000万円（補助率 2/3【※2】）
一般社団法人等が、農工商等連携事業に取り組む事業者に対する指導・助言等の行う事業
【※1】 機械化・IT化の場合、1,000万円【※2】 2/3（1～2回目） 1/2（3～5回目）

JAPANブランド育成支援事業



- **JAPANブランド育成支援事業（戦略策定支援事業）** 補助上限額：200万円（補助率 定額）
中小企業の連携体（4者以上）等が、海外販路開拓のため、ブランドコンセプトや基本戦略を固める事業
- **JAPANブランド育成支援事業（ブランド確立支援事業）** 補助上限額：2,000万円（補助率 2/3）
中小企業の連携体（4者以上）等が、海外販路開拓のため、商品開発や海外展示会出展等を行う事業